

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第1583回例会 令和4年6月9日(木)

【会長の時間】

高田 富康

私の年度の例会も今日を入れてあと3回になりました。

今日は藤崎惣兵衛商店さんの総務責任者の清水さんに来て頂いております。後ほど卓話をして頂きます。卓話のお願いに行ったところ、快く受けて頂きまして、ありがとうございました。

保険の代理店をやっておりますので、雹の話をして、どんな事が役立つかなどについてお話します。

まず雹についてですが、車の屋根がぼこぼこになりました。私の車も1台かなりひどかったです。車の保険には対人、対物、搭乗者保険と車両保険に大きく分かれます。車両保険に入っていないと保険は出ません。今車両保険の付保率は、私のお客さんの中では43%くらいです。雹は通る道があると言われていています。長瀬は雹の道から外れていると言われてはいますが、20年くらい前に雹で作本がダメになった事がありました。親鼻橋の側にあるぶどう園さんでは葉と実が落ちました

車の車両保険は、自分の車をなおす保険ですが、車と車の事故ではたとえば50万の損害が自分の車に出ました。五分五分の過失ですと、相手から25万をもらい、残りは自分でなおさなくてははいけません、その自分の負担分をカバーするのが車両保険です。車両保険の場合、7、8年前に私のお客さんが本庄の美辞寝るホテルにゴルフ帰りに泊まって、外に車を置いていて被害に遭った事があります。

今回の被害ではかなりへこんだので分かりやすいのですが、見た目が分からないくらいの被害があります。その時に「このくらいだからいいや」という事で保険の扱い者に話をしないまま済ます人もいます。そのままにすると、その車は事故車になります。下取りに出した時には事故車という事で査定が下がります。

私が考えるに、損害があるかないかは、保険会社の判断なので、とにかく話して欲しいと思います。案外知らない人が多いのですが、保険金をもらおうとなおさなくてははいけない考える人もいますが、なおすなおさないはお客さんの自由です。その損害金ををもらって、車を乗り換える事も出来ます。

何か少しでもあった場合はアクションを起こ



してもらいたいと思います。

風を伴って雹が降ったので、ガラスが割れています。火災保険でもいろいろな保険会社がありますが、自然災害の時に出来ない火災保険もあります。ガラスが割れたのでガラスの交換修理代はもちろんですが、それによって、畳が濡れたり壊れたりしても保険金は出ます。

3年前の台風19号の時もお客さんと床上浸水が3軒ありました。その内の一人の方は、床上に行くか行かないかでしたので、いいやと良いましたが、鑑定してもらった結果、350万の支払いをする事が出来ました。自分で判断しないで、保険の扱い者に話す事が大事だと思います。

【幹事報告】

畝 徳治



1. 地区事務所より
 - ①次年度に向けての意見を受けて
 - ②米山記念奨学会セミナーの案内



いろいろ卓話



藤崎惣兵衛商店

清水 貞雄様

藤崎惣兵衛商店は元は寄居で260年、私は地元の寄居生まれですが、現在自宅は深谷で長瀬まで通っています。藤崎惣兵衛商店で働いて32年目になります。長く総務、経理畑で30年近くやってきました。

歴史ですが1728年、享保13年から続いている老舗の酒蔵です。9年前までは創業者の藤崎がやっておりましたが、その後資本が変わりまして継続しています。最後の創業者が13代になります。13代の藤崎信夫氏が歴史について話しておりましたので、おその話を致します。

創業293年、享保13年、江戸の中期になります。社名が示すとおり、代々の当主は惣兵

衛を名乗っておりました。藤崎家は商家の家柄で初代藤崎惣兵衛光重が元禄年間に滋賀県猫田村、現滋賀県蒲生郡日野町猫田、本当に田舎で部落のような所らしいです。当時の習わしとして創業者は次男坊でしたので、幼少期に奉公に出ました。地元のそれほど大きくない商家の谷田家でしたが、薬を中心に雑貨などを取り扱い広く商いをしていました。親の願いが商売の基本を学び、将来は店を構えて欲しいと望んでいたようです。日野商人の部類で、近江商人の中でも中核を担う存在で、店を持たずに外へ出て歩く行商が通例だったそうです。初代も中山道を利用して、滋賀県から信州、上州、武州へと歩いていたそうです。その道すがら鬼石で宿をとる事がしばしばあり、中山道の裏街道にあたる通りながら、当時貴重な油を燃やす裕福な家が多く、町全体が明るかった事が気に入ったようです。滋賀県生まれの初代が遠く上州の地で起業したのは、谷田家で商売を学んだ後に独立、行灯などで使う灯心を売る行商に転じたからだろうと言われております。

藤崎惣兵衛商店の発祥地は鬼石町です。鬼石の中心地に郵便局がありまして、その反対側に293年前に始めたという事です。屋号が十一屋となっています。

初代が結婚する前の30代の時に創業を決意して1728年に酒造業を始め、その後醤油、味噌などの商売をしていたそうです。1763年に71才で没するが、生前中に2代目に事業を引き継ぎました2代目は経営手腕があった人物で、個人経営ながら支店を開設して事業の拡大を図った。埼玉県内では1756年に寄居町に出店、創業して30年後に寄居町で酒造り、その後熊谷市、高崎市で醤油製造、専業に製造する形態をとり、独立採算制で行ったようです。

だんだん日本酒離れが始まり、また酒税の自由化になり利益が減ってきた関係もあり、上里、東松山の配送センターを閉めて、寄居が最後でしたが閉めました。8千坪ありますが、藤崎惣兵衛商店の会社の土地でベルクさんに土地を貸しています。

そして4年前に長瀬移りました。長瀬では製造の者が4名、私ともう一人で売店関係をやっております。火曜日、水曜日が定休日です。現在は外売りに力をいれながら商売しております。

次に長瀬蔵という形でやっておりますが、長瀬蔵についてお話をします。2013年7月に再スタートするにあたり、以前はすべての酒類卸と酒製造でしたが、会社を分けて、卸業務の会社と酒造りの会社に分けて、酒造りの会社を藤崎惣兵衛商店という形で引継ぎました。私はその時に藤崎惣兵衛商店に席を置いております。

そして再スタートという形で長瀬に移りました。長瀬蔵の考え方として、酒造り一本。酒も長瀬というブランドを前面に出して、寄居では白扇を長くやっておりまして、現在もそちらの売り上げが長瀬の売り上げに対して大きいです。白扇は酒屋を通して販売しておりましたので、今もその形態を取っております。長瀬では、製造蔵で作った酒を売店または秩父地域でもレギュラーで置いて頂いておりますので、そちらで販売しております。

長瀬に移転するにあたり、酒づくりとして埼玉の地で日本酒を世に広める事に尽力した近江日野証人、十一屋藤崎惣兵衛の志を継ぐ日本酒づくりに専念すると。藤崎惣兵衛商店のモットーは技で磨き、心でかます酒づくりです。頭の杜氏が32才くらいです、若い人達が飲んでくれるような酒づくりをしております。

こだわりとしては、埼玉でしか造れない地酒という事で酒米は埼玉県で開発販売している酒むさしという酒米だけを使っております。

レギュラー酒としては純米酒、純米大吟醸種、純米吟醸酒だけです。後は派生商品で、毎年同じ物は造らないという考え方でやっております。賞に挑戦して、受賞回数が多いのは純米大吟醸酒で、力を入れていきます。ワイングラスで美味しい日本酒アワードで2年金賞を受賞していますが、今年は最高金賞をもらいました。後は純米酒でインターナショナルワインチャレンジで昨年受賞しています。海外では一番古い競技会です。蔵マイスターですが、フランスで開催されますが、毎年出品しております。2022年もまた金賞を受賞しました。賞を取る事が目的ではなく、良い酒を造って、皆さんに認めて頂くために賞を取る事によって認めて頂くという方向を考えております。水に関しては風布地区から水を頂いて、酒づくりの水に当てています。

今年は、5月半ばで仕込みが終わり、年間30本くらい造っておりますが、最後の絞りが終わってくらいです。設備的な関係で暑い夏場は造る事を止めています。次は10月頃から用意して、最初に出来上がるのが12月近くになります。10月頃から初めて片付けが終わって6月が終わり、7月から9月は瓶詰めをしたりしています。

場所的には郷土資料館の反対側になります。駐車場を共有しておりますので、協力しながらお客さんに来て頂ければと思っております。今はハナビシソウで賑やかになっています。最近ではリピーターも増えております。県の事業にも参加しております。秩父乾杯共和国にも参加しております。秩父鉄道さんにお話頂き、昨年もSLで長瀬蔵号を2日間走らせて頂き、今年も7月に予定しております。試飲して頂き、名前を知って頂く事が必要ですので、購入して頂く事になります。

早く長瀬蔵として独立出来るように、小さいながら部門毎に責任を負わされておりますので、頑張ってお仕事をしております。

ニコニコボックス

♪今年6月に後期高齢者の仲間入りをはたしました。これからも健康に注意し、頑張っていきたいと思っております。 畝 徳治

合計 2,000円

出席率 80.0%